

 おやっとなさあ	編集・発行 垂水市立介護老人保健施設 コスモス苑 TEL 0994-32-5200 FAX 0994-32-5280 E-mail: kosumosuen@po.city-tarumizu.kagoshima.jp VOL.26
---	---



五月の「おやっとなさあ」の表紙は青空の下、桜の花とコスモス苑の建物が掲載されていました。今度はどのような表紙になるのかな、何を書いたらよいのかと思い悩むばかりで筆が進みません。そこで私の事から話してみます。コスモス苑に異動となり、八月で一年が経ちました。介護という制度について、また自分の役割や責務について多くの事を学ばなければならぬ悪戦苦闘の毎日が続いています。このような日々を送る中で、いかに多くの方の手助けを頂きながら仕事をさせていたでいるかという事を痛感し、感謝する日々でもあります。

私自身は利用されている皆さまのお世話を直接させていただく機会が多くありませんが、勤務をする中で皆さまの顔を拝見するとき、この方はこれまでどのような道（人生）を歩んで来られたのかなと思う事が

あります。たくさんの時間や経験を経て、今コスモス苑で私たちと時間を共にして頂いているということの意味について考えることもあります。これから人生の先輩である利用者の皆さまのお世話させて頂けるよう、スタッフと共にこの時間を大切にして、一番身近な存在で信頼される職員となれるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

看護・介護部 師長

樋山 智子



第18回コスモス苑



祭 夏祭り開催 祭



平成 26 年度第 18 回夏祭りリーダー入佐です。今年度は入所者様をより身近に、そして楽しんで頂ける様に小規模での開催となりました。各フロアの出し物、みなみかぜ様の出し物、神園看護部長の踊り、夏祭り担当によるロックソーラン節。入所者様には喜んで頂けたと思います。そして最後は全職員による総踊り。観覧されていた入所の方も一緒に踊っていて大変良かったと感じています。皆様の笑顔が一番の活力源になります。来年度はどのような夏祭りになるか分かりませんが、入所者様の笑顔を見る為に頑張っていこうと思います。本当にありがとうございました。

1階

入所、通所、利用者様夏祭り楽しんで頂けましたでしょうか?歌や踊り、ダンスと皆様が楽しめるよう夏祭り担当をはじめ苑職員皆で取り組んできました。また来年も楽しんで頂けるよう工夫していきたいと思います。

主任 丸山 貴幸



2階

今年も、無事にコスモス苑夏祭りを楽しく終了することができました。夏祭り担当の皆様、当日までの準備が大変だったことでしょうか。ありがとうございました。

2階は、プロジェクターを使用し、普段の苑での生活を会場で流すことができました。また、利用者様には、鈴・トライアングル等を持っていただき、歌をうたいました。歌っていいですね。表情も明るくなるし、これからも日々のレクリエーションで、昔からの歌をみんなで、楽しく、歌って、明るい2階での生活になれば、最高だと思いました。

主任 上久保 則雄

やすらぎ

今年の夏祭りは『利用者様と共に楽しむ』がテーマでした。職員・利用者が一緒に舞台にあがり「かもめの水兵さん」と「戦友」の2曲を唄いました。毎日のレクリエーションの時間を使って練習してきたので、本番では笑顔で楽しく唄えました。

副士長 柳田 誠



デイケア

通所リハビリテーションでの夏祭りは、午後よりふれあいホールにてバンド演奏に合わせた歌を披露していただきました。また通所職員担当にて「どじょうすくい」の踊りや「どんぐりころころのダンス」を披露していき参加利用者様の笑い声を頂きました。最後に夏祭り担当による「ロックソーラン節」の迫力や掛け声に元気をもらい利用者様の笑顔を見る事が出来ました。また夏祭りの雰囲気を感じられるように、わたあめ・かき氷・たこ焼きなどを実際に作っているところを見ていただきながらお腹いっぱい食べて頂き楽しそうな笑い声や笑顔がとても素敵でした。来年度も楽しい夏祭りを開催していきたいと考えます。

主任 吉田 尚美



感染対策委員会より苑内におけるお知らせとお願い

感染委員会では、苑内での食中毒に注意をしていながら外部からの食べ物の持ち込みの制限を行っていきましました。秋に入りだいぶ朝晩涼しくなりましたが、日中の暑さはまだまだ暑く食中毒が起こり得る気候である為、引き続き食べ物の苑内への持ち込みの制限をお願いしたいと考えます。またこれからの季節の移り変わりの時期よりいろいろな感染症の発生が考えられます。寒い時期になるとインフルエンザ・ノロウイルスの感染症の発生が起こりやすくなっていきますが、感染委員会では感染症に対し予防対策を行いながら利用者様の体調管理に努めていきたいと思ひます。またこれからも皆様の御協力をお願いしながら利用者様がコスモス苑にて健康でお過ごし頂けるように感染症予防に努めていきたいと思ひます。



一回アップルパイ

(作り方)

- ①リンゴを 16 等分のクシ形切りにし、さらに 5 mm 幅に切っていく。
- ②鍋にリンゴ、砂糖、バター、レモン汁を入れて中火で水分が無くなるまで煮ていく。
- ③冷凍パイシートを 12 等分にする。1 枚を 6 等分にして 2 枚一組で 1 枚のシートの中央の 4 箇所に入り込みを入れる。
- ④切れ目のないシートにリンゴを乗せて切れ込みのあるシートを被せて周りをフォークで押えて閉じていく。
- ⑤表面に卵黄を塗っていく。
- ⑥ 200℃に予熱したオーブンで 15 分、180℃に下げて 10 分焼く。

【焼き時間は合計 25 分です】

⑦荒熱が取れたらシュガーパウダーをかけて完成!!

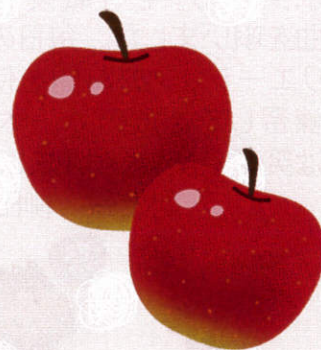
*余ったリンゴ煮は冷凍にて保存もできます。



(材料) 9 個分

冷凍パイシート (常温に戻す)	・・・	3 枚
リンゴ	・・・	小 1 個
レモン汁	・・・	大 2 ～ 3
砂糖	・・・	大 2 (好みで増減 OK)
バター	・・・	20 g
卵黄	・・・	適量
シュガーパウダー	・・・	好みで

*今回の冷凍パイシートは長方形の 3 枚入りのを使用しています。



利用者様作品製作風景

川原ミヨ様

カゴ作りは毎回楽しみにしています。斎藤先生の手伝いもあり、作ることができ、先生には感謝しています。これからもカゴ作りを楽しみながら頑張りたいと思います。



リハビリテーションのご紹介

コスモス苑で行うリハビリテーションは、自宅で生活するのに少し不安がある方、自宅で生活されている方で、脳卒中の後遺症や膝関節の痛みのため歩行が困難になった方、日常生活動作が低下してきた方、家に閉じこもることにより体力が低下し日常生活動作が困難になってきた方などに対して、運動療法や作業療法を行います。

在宅復帰を目指し、在宅生活が継続できるように支援していくためには、身体機能・ADL 機能向上以上に、家屋や人的環境、経済的要因など複雑に絡んできます。機能面ばかりでなく、その人の生活背景も見なければなりません。

在宅生活が困難な方が多く、老健が生活の場となっている以上、「その人らしい生活」が送れるように支援するのも療法士の指名かと思う今日この頃です。

在宅復帰支援を推し進めていくにあたり、私たちにとって重要なことは、地域の拠点としての役割を果たしていく事と認識しております。利用者さまの活動性を大切に、「できる力」に着目した個別の援助を行います。社会や家庭での役割、趣味・楽しみへの意欲の向上、「生活機能」全体の向上を目指します。また、その人らしく、笑顔のある生活を送っていただけることを大切に、支援していきます。

地域にとって拠点と認めてもらうためには、他では困難でもあそこの老健に行ったら何とかしてくれる。安定すれば次の対応をしてもらえる…と思われるような施設になれるように努力していきたいと考えていますので、些細なことでも構いませんので、お困りの際は是非一度、ご相談ください。



新入職員紹介



船間 美由紀さん

6月よりコスモス苑で働かせて頂いております。まだ慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、スタッフの皆さんに優しい声をかけて頂いているので、一生懸命頑張っていこうと思っています。



永吉 芳子さん

6月よりコスモス苑に異動して参りました永吉です。初めて老健での勤務となり不安もありますが、利用者の方々に、苑での生活を快適に過ごして頂けるよう日常生活の援助をさせて頂きたいと思っています。まだ不慣れなところもたくさんありますが、頑張りますのでよろしくお願い致します。



野菜を

収穫しました

コスモス苑で育てている野菜が食べ頃になっていたので、利用者様と一緒に収穫をしました。楽しく収穫しておいしくいただきました。

編集後記

朝晩寒くなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今回は新しい新聞委員会で作成した初めての「おやっとさあ」でした。

内容としては夏祭りをメインに、作業療法やリハビリ、新人職員の紹介を載せさせて頂きましたがいかがでしたか。

次回も頑張って作りますので楽しみにして下さい。それではお身体に気を付けて一日一日をお過ごしください。

新聞委員会

川尻 祐介

